

2月20日：VN指数は7連騰目を記録 (VN-Index +0.42%)

- VN指数は高い流動性を伴い取引を開始。開始したてはやや不安定だったものの、すぐに前日終値を上回る推移を見せた。
- 前場は依然としてビングroup銘柄が相場の上昇をけん引し、金融セクターもそのあとに続いた。
- 後場は一時的に買いの勢いが弱まったが、最終的には優勢となった。
- 化学セクターが急速に上昇し、後場の指数上昇の助けとなった。
- 245銘柄が上昇、231銘柄が下落、95銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は15%減の21兆ドンとなった。

VN30指数は相場上昇の妨げに (VN-30 +0.12%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、10銘柄が上昇し、16銘柄が下落、4銘柄が変わらずとなった。
- VRE (+6.03%)、GVR (+5.22%)、VIC (+3.19%) が上昇をけん引。
- 一方、SHB (-1.25%)、BVH (-1.04%)、VPB (-1.01%) は指数上昇の妨げとなった。

セクター・個別株の動き

- HBC (+5.00%) は、ケニアで5件の社会住宅建設プロジェクトを受注。プロジェクトの規模は3,400戸、総投資額は約7,200万米ドル。さらに同社は、ケニアにおける他の2件の社会住宅プロジェクト（予定額9,160万米ドル）の設計と建設計画を競っている。
- SSI (+0.28%) は、グエン・ドゥック・トン氏を2024年3月1日から任期5年以内の副最高経営責任者に任命した。同氏の前職は常務取締役会長補佐。

- 外国人投資家は、MSB (+0.00%)、VIX (+2.33%)、ビングループ銘柄などの買い越しの影響を受け、本日 1360 億ドルの買い越しとなった。反対に、MWG (+0.00%)、STB (+0.00%)、VPB (-1.01%) が最も売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。